

これでもう迷わない
い！エラーハンド
リングで大事な、
たったひとつのこ
と

2017/4/28 オプト社内勉強会

自己紹介

渋谷 充宏 @m4buya

- なんでも屋
- サーバーサイドプログラマだった
- Ruby / Scala
- <https://github.com/mshibuya>
- RailsAdmin/CarrierWave committer

微妙なエラーハンドリング、見たことないです？

- なんか握りつぶしやがってる！
- エラー表示を見てユーザが「そう言われても…」みたいな気持ちになる
- 怒られが発生してはじめてエラーに気付く

ねらい

システムにおけるランタイムエラーをどう扱ったらいいかについて、心構えを持っておきたい

今日扱わないこと

- ランタイム時でないエラー
 - コンパイルエラーなど
 - がんばって直せ！！！！

いろんなエラーがある

javaでいうと

- FileNotFoundException
- IOException
- IndexOutOfBoundsException
- NullPointerException
- SQLException
- ...

エラーとは

- 「誰かがやりたかったことを達成できなかった」こと！

エラーハンドリングでもっとも重要なのは

- 「なんとかできる人」が適切に状況を知れること
- 「誰のせいなのか」によってなんとかできる人は変わる

具体例

- データベースのクエリエラー
- ディスクの空き容量不足による
ファイル作成失敗
 - サーバサイドアプリケーションなら？
クライアントアプリケーションなら？

具体例

- 存在しないIDの項目を表示しようとした
- 外部サービスのネットワークのタイムアウト

「状況を知れる」ということ

- ログに吐かれるから大丈夫でしょ？
 - ログなんて誰も見ません！！！！

メールで飛ばす？

- まあ気付くは気付くので、一歩
前進

メールで飛ばすデメリット

- 大規模な障害時にメールボックスが埋まる
 - 未読133545通みたいな
- 「些細だけどなかなかつぶせないエラー」に重大なエラーが埋もれてしまう

エラー収集サービスを利用しよう！

- Sentry
- airbrake
- errbit

まとめ

- エラーとは「誰かがやりたかった何か」の達成に失敗したこと
- 達成のためになにかできる人にきちんと知らせる必要がある
- そのために適切なエラー収集の方法を確立しよう！

ご静聴ありがとうございました
